

調布市地域公共交通計画策定に向けた 令和5年度の実施結果について

令和6年3月27日（水）

調布市 都市整備部 交通対策課

調布市地域公共交通計画策定に向けた令和5年度の取り組み

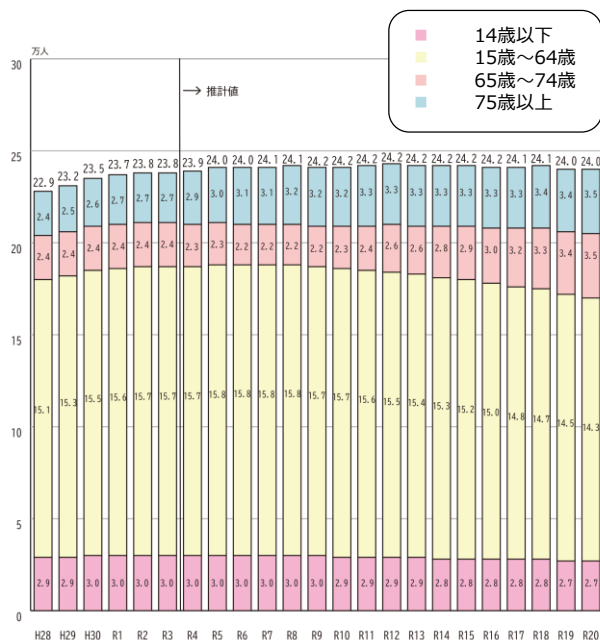
- 令和5年度は、総合交通計画等を踏まえ、更に地域別に現状を把握するため、公共交通に対するニーズの把握、地域公共交通の問題点・課題点を整理し、基本の方針と目標の検討、事業計画の検討を実施した。

| | |
|-------|--|
| 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> 市内の現況等の整理 公共交通に対するニーズの把握 地域公共交通の問題点・課題点の整理 地域公共交通に係る基本方針と目標の検討 目標を達成するために行う具体的な事業計画の検討 オープンハウスの実施 |
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 地区別意見交換会の開催 関係者協議の実施 調布市地域公共交通計画（素案）の取りまとめ パブリックコメントの実施 調布市地域公共交通計画の策定 |

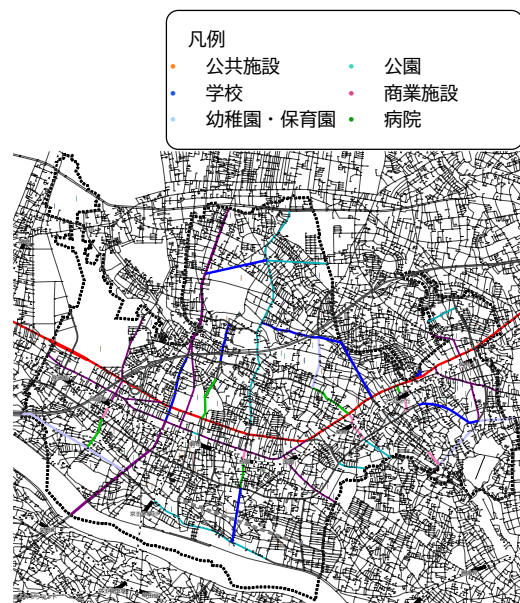
▲ 調布市地域公共交通計画策定スケジュール

調布市の公共交通を取り巻く状況について：①調布市の概況

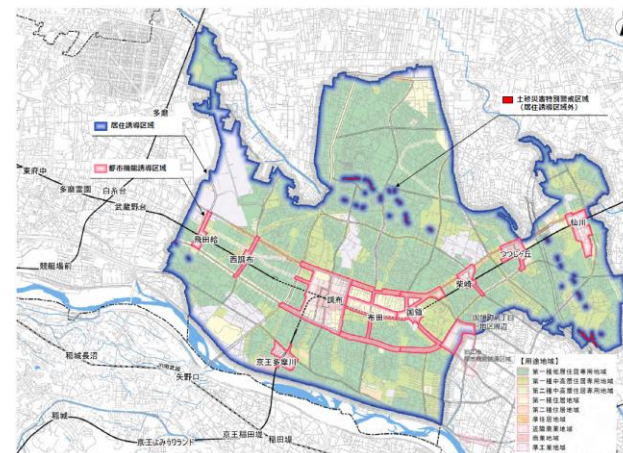
- 全国的に少子高齢化社会が進む中で、調布市においては、これから10年、15年でみれば、**人口はほぼ横ばいで推移**するが、**高齢化は進んでいく**ものと想定される。
- 土地利用や建物現況、公共施設等の立地をみると、**住居系用途が広く分布**している一方で、**調布駅を中心とした駅周辺**においては**公共施設や商業施設が多く集積**している。また、「調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画」に基づき、調布駅や他の駅周辺に拠点立地施設の誘導が進められている。



▲調布市の人口総数、将来推計人口



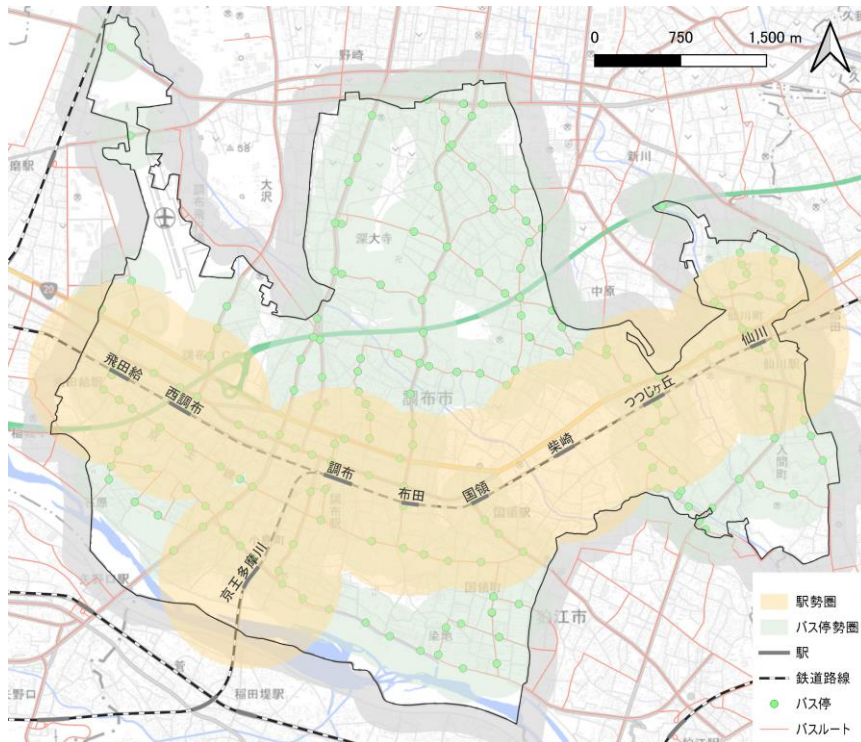
▲調布市の公共施設等



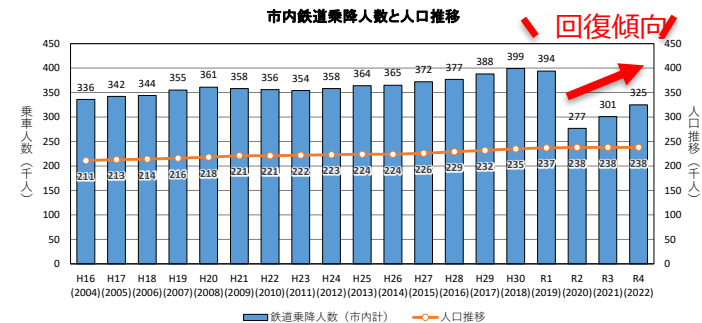
▲立地適正化計画における
居住・都市施設誘導区域

調布市の公共交通を取り巻く状況について：②公共交通の現状

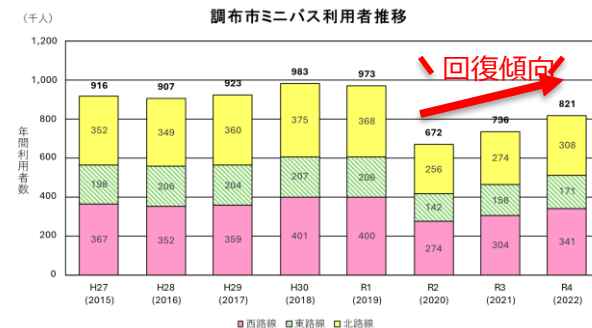
- 駅勢圏、バス停勢圏は市内を概ねカバーしているが、一部に公共交通が利用しにくい地域（公共交通不便地域）も存在している。
- 公共交通の満足度は、70%台となっているが、鉄道、バス、タクシーの個別満足度には差がある。
- 鉄道、ミニバスともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で利用者が減少した。令和3年度以降は回復傾向にあるが、テレワーク等の生活様態の変化によりコロナ禍等以前の利用者数には戻らないことが想定される。
- ミニバス北路線は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大幅な減便となった。これを受けて現在、地域の方々の移動手段の確保、ニーズへの柔軟な対応のため、デマンド型交通の実証実験を行っている。
- 今後、運転手不足等による既存バス路線の減便への対応の検討が必要となる。



▲ 駅勢圏・バス停勢圏図



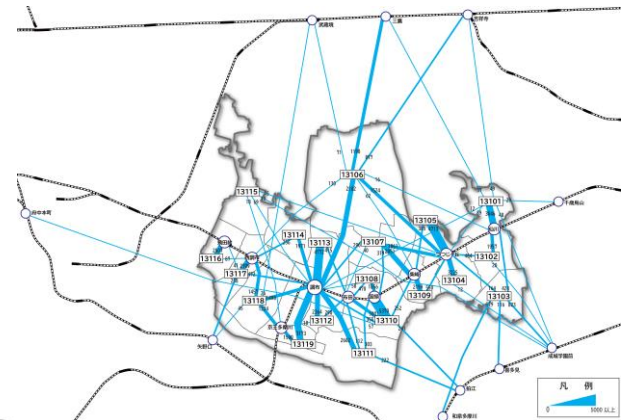
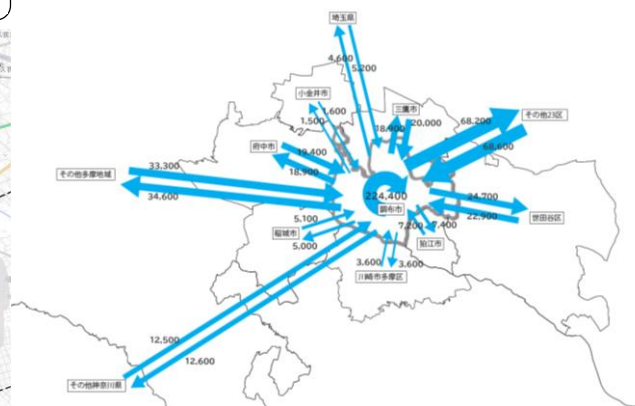
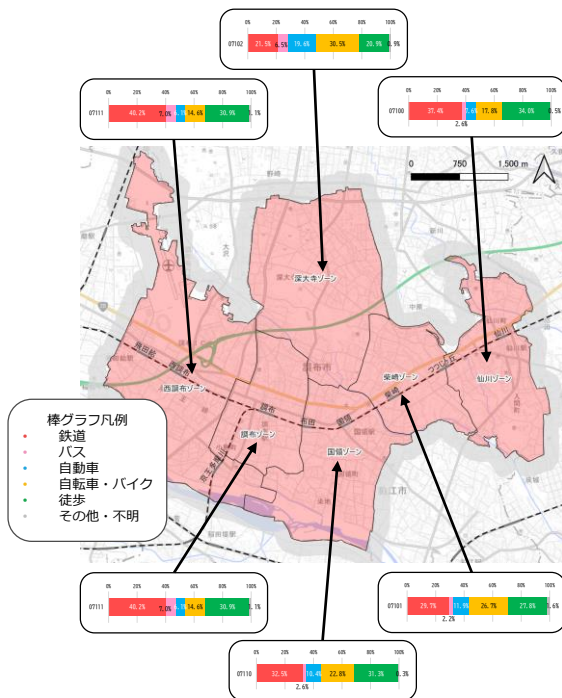
▲ 市内における鉄道乗降人員の推移



▲ ミニバス利用者の推移

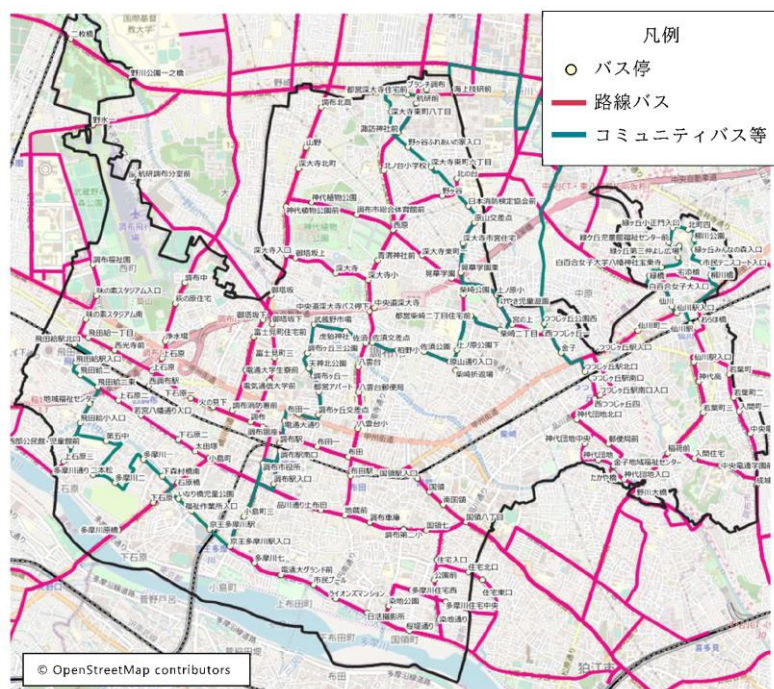
調布市の公共交通を取り巻く状況について：③移動特性、ニーズ

- 移動の特性としては、東京都心との行き来が多く、鉄道の分担率が高くなっている。一方、市内での移動もあり、住居系用途が広く分布する土地利用等の状況を踏まえた機能が求められる。
- 基本的には、京王線の各駅へのアクセスとなっているが、一部中央線、小田急線の各駅へアクセスしている人も存在している。
- 鉄道駅から離れた地域に住む人は、バスや自転車等を利用して鉄道駅にアクセスしている。



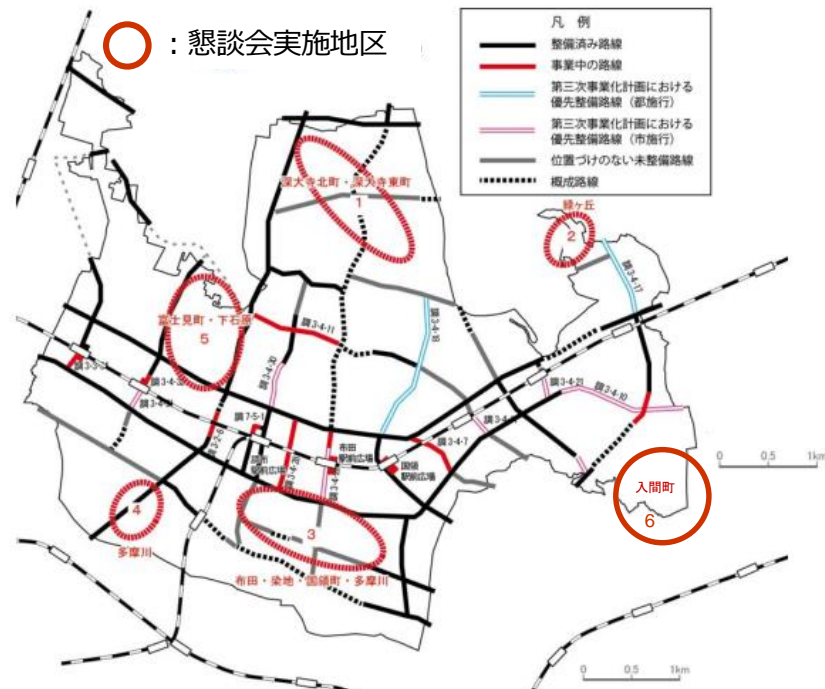
公共交通に対するニーズの把握：目的

- 公共交通が利用しにくい地域への対応や高齢者の社会参加の促進などをはじめとして、様々な年代層の生活における交通利便性の向上を目的とし、以下の方法により公共交通に対するニーズや様々な意見を把握した。
 - ① 市民アンケート調査によりニーズを把握、広く意見を聴取
 - ② 懇談会等により地域が抱える課題を把握
 - ③ 公共交通事業者ヒアリングにより、運行事業者としての課題やアイデアを把握・共有



基盤地図情報（国土地理院）より作成

▲市内のバスネットワーク



調布市公共交通ネットワーク整備の方向性（平成28年3月）に一部加筆

▲懇談会実施地区

公共交通に対するニーズの把握：①市民アンケート調査

- 市民の公共交通へのニーズの把握等のため、市民アンケート調査を実施した。

| | |
|------|---|
| 調査方法 | アンケート調査票を郵送配布、郵送回収 |
| 調査対象 | 16歳以上の調布市民6,000人 ※東京都市圏パーソントリップ調査の小ゾーン別に、 年齢層別人口構成比に応じ無作為に抽出 |
| 回答者数 | 2,129人（回収率35.3%） |
| 調査期間 | 令和5年12月10日（日）～令和6年1月10日（水） |
| 調査内容 | <ul style="list-style-type: none"> ①個人属性（性別、年齢、職業、居住地域、外出能力、運転免許の有無） ②目的別の外出について（通勤・通学、買物、通院、その他） （頻度、行先、手段、所要時間、満足度） ③自動車等（バイク等）の利用状況について ④調布市内の公共交通の満足度・重要度 ⑤デマンド型交通について ⑥公共交通の役割について、その他自由意見 |

公共交通に対するニーズの把握：①市民アンケート調査

○調査結果：移動ニーズ・外出先

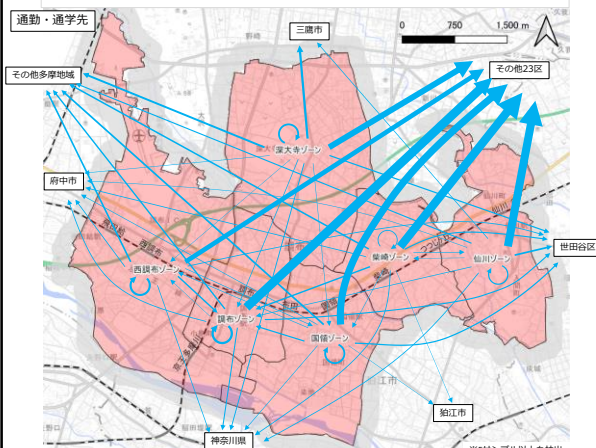
- 外出先については、通勤・通学では23区や多摩地域などの市外への移動が多い。
- 買い物や通院では調布ゾーンへの移動や各ゾーン内での移動が多い。
また、深大寺ゾーンからは、調布ゾーンや三鷹市への移動も多い。

通勤・通学

20% 40% 60% 80% 100%

調布市内 22.7%

調布市外 77.3%



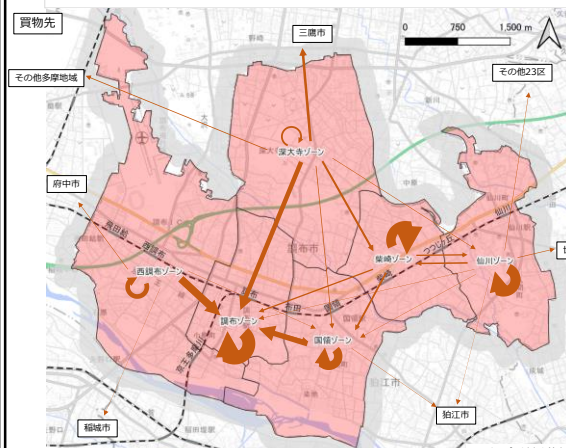
主な行先：世田谷区除く23区 (39.0%)
 その他多摩地域* (8.6%)
 調布ゾーン (6.9%)
 世田谷区 (6.5%)

買物

0% 20% 40% 60% 80% 100%

調布市内 92.0%

調布市外 10.4%



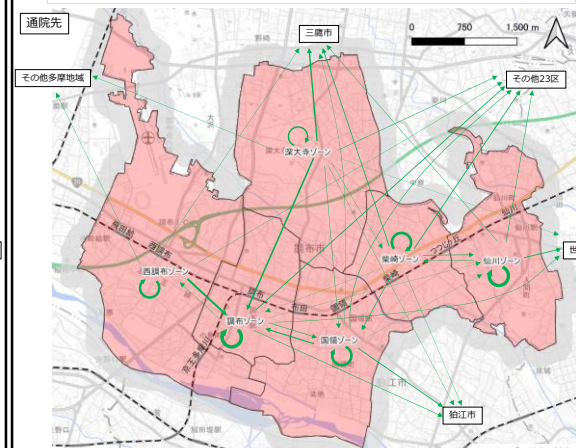
主な行先：調布ゾーン (39.8%)
 柴崎ゾーン (16.9%)
 仙川ゾーン (15.2%)
 国領ゾーン (14.4%)

通院

0% 20% 40% 60% 80% 100%

調布市内 71.7%

調布市外 32.0%



主な行先：調布ゾーン (20.9%)
 国領ゾーン (11.7%)
 仙川ゾーン (11.6%)
 柴崎ゾーン (9.1%)

*東京都多摩地域のうち近隣の三鷹市、小金井市、府中市、稲城市、狛江市以外

※流動図は5人以上回答があったもののみ掲載

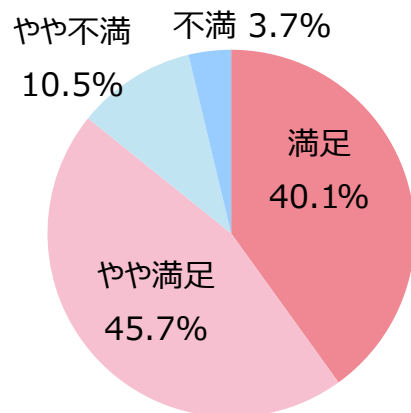
公共交通に対するニーズの把握：①市民アンケート調査

○調査結果：調布市の公共交通の満足度

- 鉄道は86%、タクシーは62%、バスは66%が満足またはやや満足と回答。
- 満足度の高い項目については、維持・強化していくことが必要。



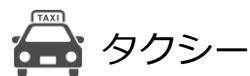
鉄道



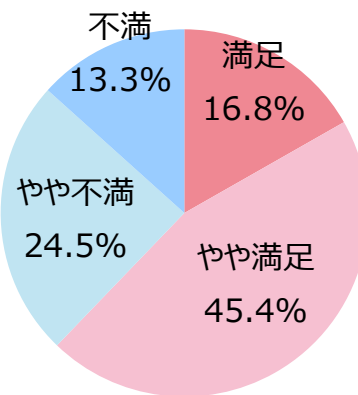
満足度の高い項目



- 業務員対応
- 運行本数・頻度
- バリアフリー
- 情報発信
- 運賃



タクシー



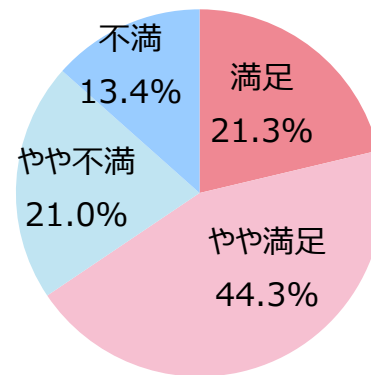
満足度の高い項目



- 車内の環境
- 業務員対応
- 情報発信



バス



満足度の高い項目

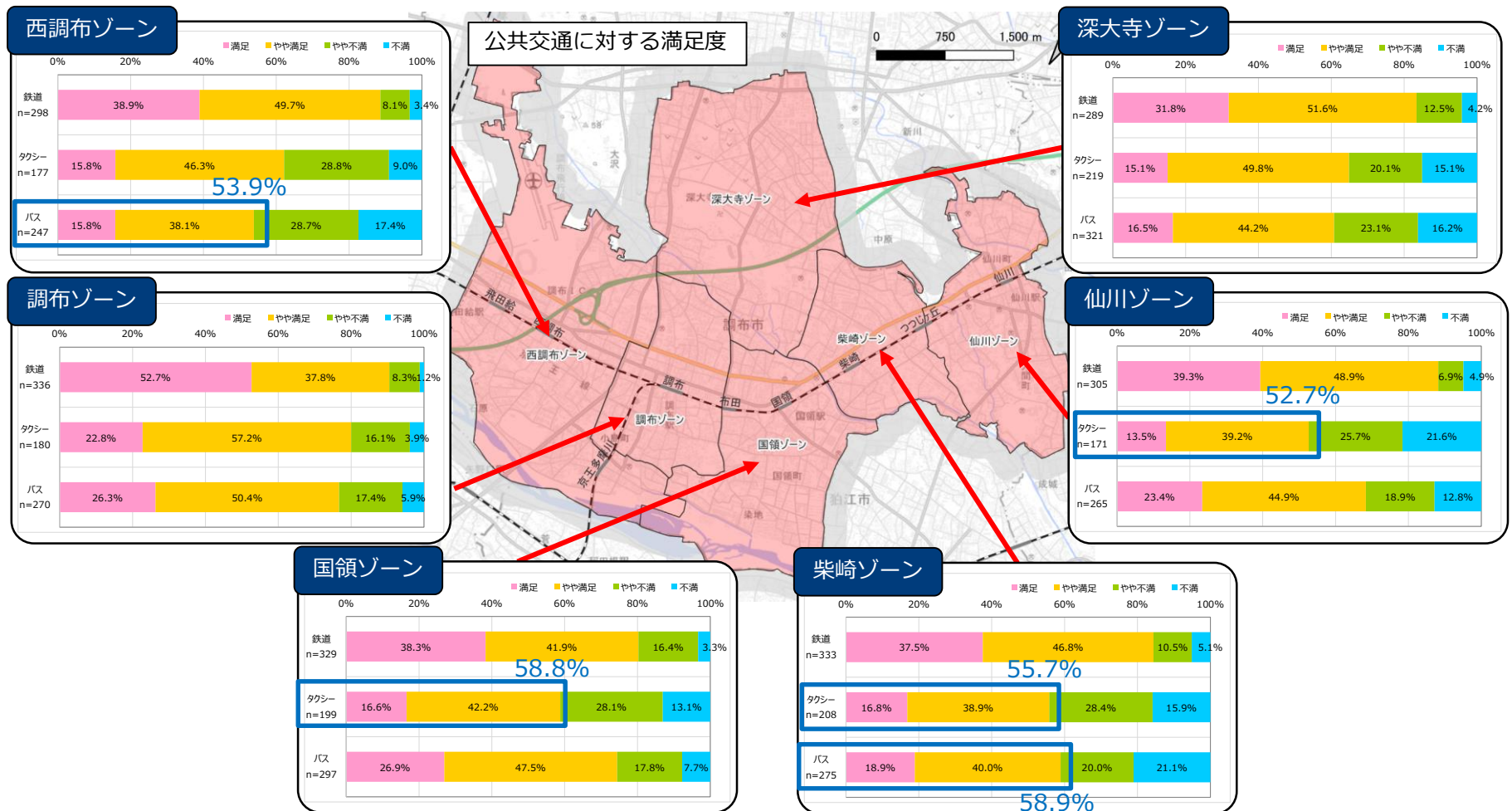


- 業務員対応
- 車内の環境
- 運賃

公共交通に対するニーズの把握：①市民アンケート調査

○調査結果：調布市の公共交通の満足度

- 鉄道についてはいずれの地域も満足度は高い。
- タクシーについては仙川、柴崎、国領の各ゾーンで、バスについては西調布、柴崎の各ゾーンで、満足度が60%以下となっている。



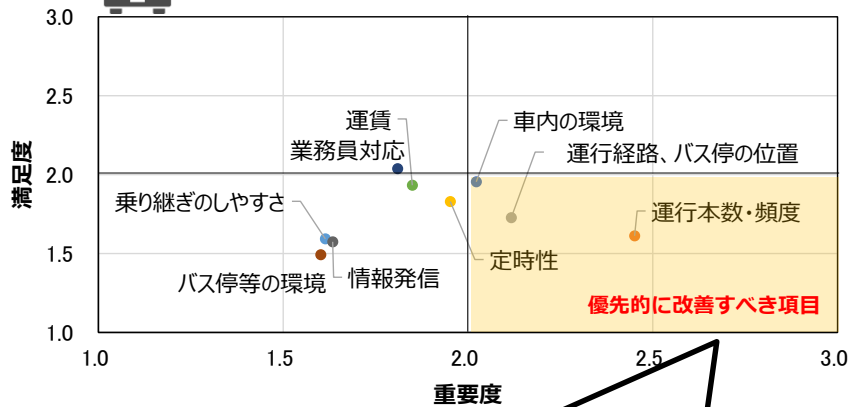
公共交通に対するニーズの把握：①市民アンケート調査

○調査結果：調布市の公共交通の満足度・重要度

- 分析の結果、以下に示すように重要度が高く満足度が低い項目が明らかとなった。



バス

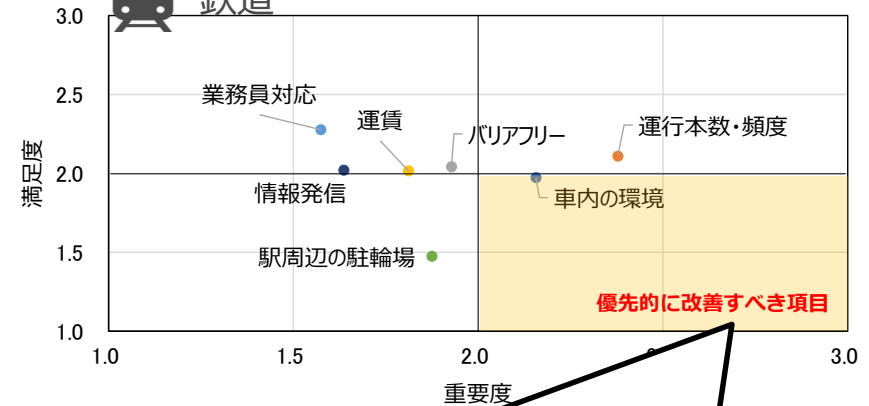


重要度が高く、満足度が低い項目

- 運行本数・頻度
- 運行経路・バス停の位置
- 車内の環境

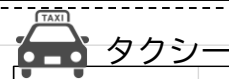


鉄道

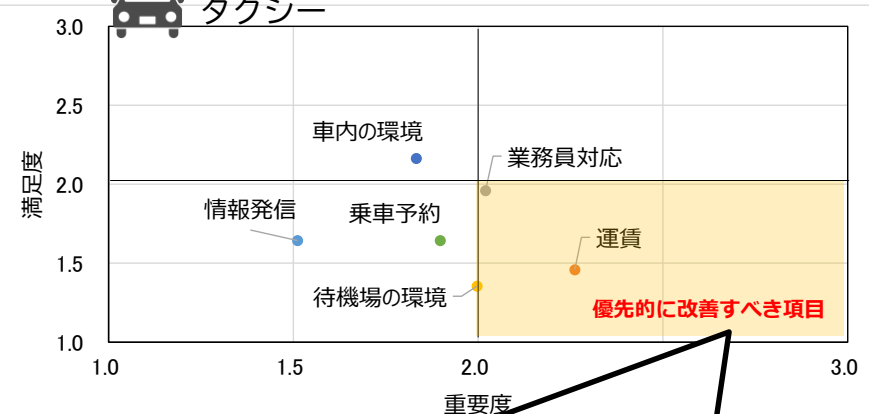


重要度が高く、満足度が低い項目

- 車内の環境



タクシー



重要度が高く、満足度が低い項目

- 運賃、業務員対応

(算出方法)

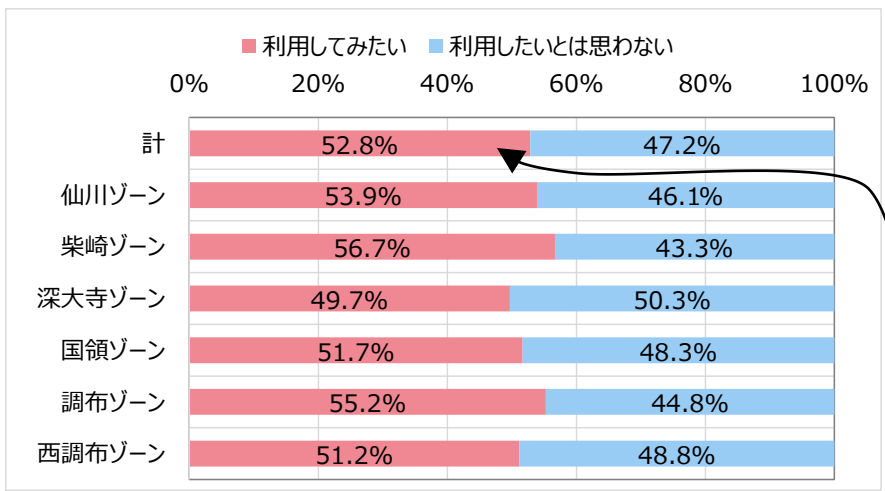
- 満足度：「1 満足」を3点、「2 やや満足」を2点、「3 やや不満」を1点、「4 不満」を0点とし、各評価項目の平均満足度 (点数) を算出
- 重要度：「1位」を3点、「2位」を2点、「3位」を1点とし、各評価項目の平均重要度 (点数) を算出

公共交通に対するニーズの把握：①市民アンケート調査

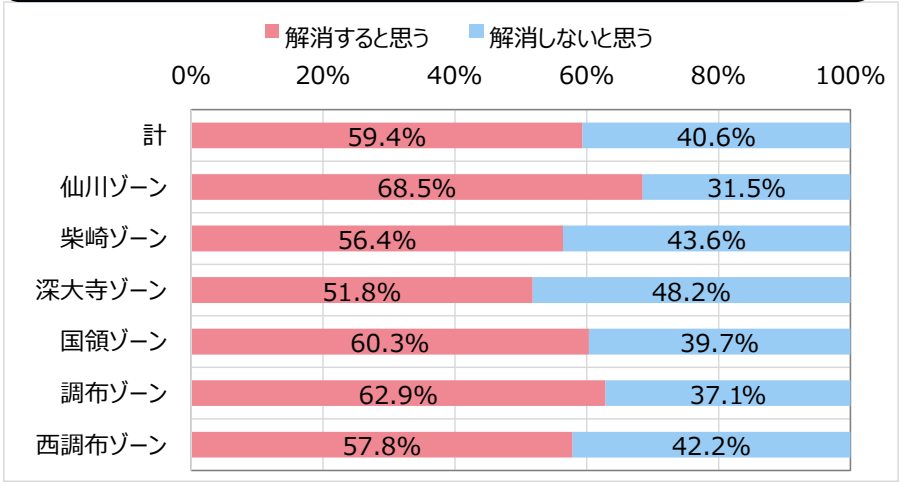
○調査結果：デマンド型交通の利用意向等

- 鉄道や路線バスが運行しておらず公共交通を利用しにくい地域でデマンド型交通が運行された場合に、利用してみたいかを伺った。また、運行によってその地域の交通事情が解消するかも伺った。
- 交通事情が解消すると答えた人は60%前後であり、デマンド交通への期待度の高さがうかがえる。

デマンド型交通の利用意向



デマンド型交通によって公共交通の利用しにくい地域の交通事情が解消すると思うか



・利用したい行先（複数可）

| | |
|----------|-----|
| 病院・クリニック | 65% |
| 商業施設 | 61% |
| 公共施設 | 44% |
| 自宅・自宅近く | 34% |

・利用頻度

| | |
|-------|-----|
| 月に数回 | 73% |
| 週1~2回 | 16% |
| 週3~4回 | 4% |
| 週5回以上 | 2% |

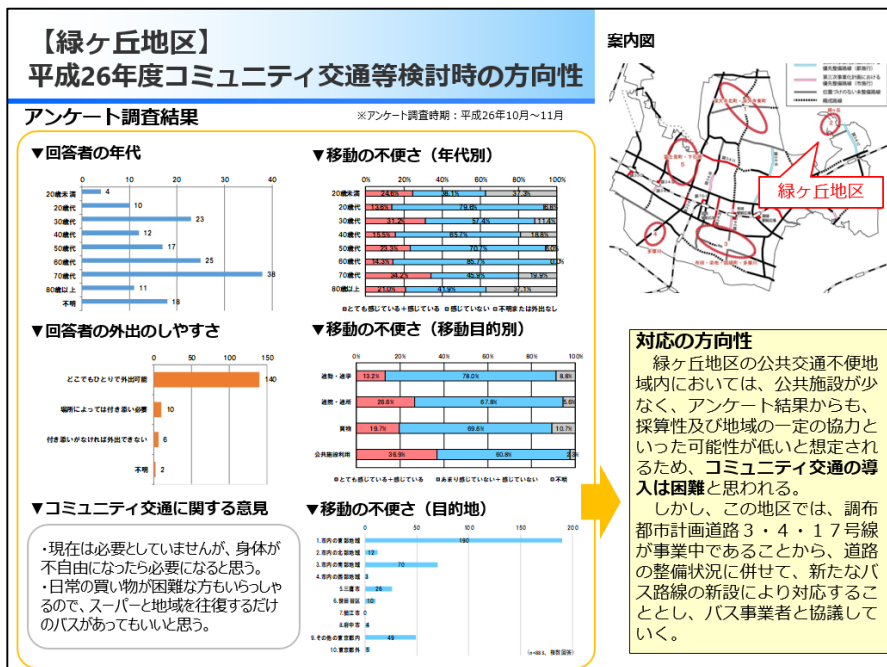
公共交通に対するニーズの把握：②公共交通に関する懇談会

- 公共交通の細やかな課題を把握するために懇談会を行った。

| | |
|------|---|
| 開催場所 | 平成28年3月に取りまとめた「調布市公共交通ネットワーク整備の方向性」において、当時、コミュニティ交通の導入について検討した5地域（ <u>深大寺地区</u> 、 <u>緑ヶ丘地区</u> 、 <u>布田・染地地区</u> 、 <u>多摩川地区</u> 、 <u>富士見地区</u> ）と、令和5年中に路線バスが大幅減便となった <u>入間地区</u> で実施。 |
| 開催期間 | 令和5年12月中旬の平日 各箇所2時間程度 |



▲懇談会実施状況（緑ヶ丘地区）



▲懇談会資料（平成26年度コミュニティ交通検討時の方向性）

公共交通に対するニーズの把握：②公共交通に関する懇談会

○いただいた意見の例

深大寺北町・東町

- デマンド型交通のような運行形態は、この地区に合っていると感じる
- 利用料金が高い。また利用時間が限られており、利用を断念せざるを得ない人もいる
- アプリか電話という予約方法に抵抗があり、使い方を説明して欲しい
- 実証実験の中で利用者の意見を聞きつつ調整、検討して欲しい
- しっかりとしたプランニングと公共交通不便地域の解消を進めてほしい

緑ヶ丘

- 循環バスはありがたいと感じている
- 緑ヶ丘1丁目は、2丁目に比べてバスの路線、本数が少ないと感じる
- 狭い道路も、一方通行にしたり小さな車両を使ったり工夫して路線を作って欲しい
- 三鷹市の方まで回るような広域な路線を作って欲しい

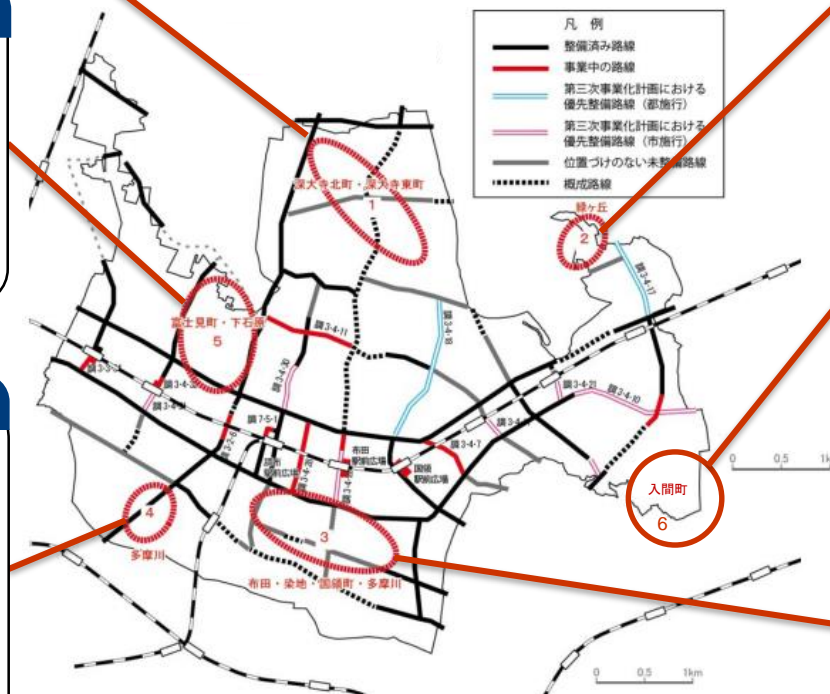
富士見町・下石原

- ミニバスよりもデマンド型交通のような運行形態がこの地区には合っていると感じる
- 富士見地区にはスーパーマーケットがなく、買い物に不便している。
- 富士見地区には東西の移動手段がない

多摩川

- 調布駅へ行く際には、主に自転車を利用している
- 矢野口駅へ向かう公共交通機関が少ないと感じるので、バスがあると便利
- 鶴川街道を考えると、新規のバス運行は渋滞の助長につながり、定時運行を確保できないと思う

○：懇談会実施地区



▲懇談会実施地区

入間町

- バス路線のダイヤ改正により本数が少なくなり、移動に時間がかかるようになった
- 病院や市役所など公共施設へのアクセスを確保して欲しい
- デマンド型交通の実証実験を入間町地区でも実施して欲しい

布田・染地・国領町・多摩川

- 国領駅や慈恵病院に向かう直通バス路線があれば便利だと感じる
- バス停の間隔が離れている箇所があるので、増設して欲しい

公共交通に対するニーズの把握：③公共交通事業者ヒアリング

- 公共交通の利便性や安全確保など運行実態に関する問題点の抽出、運行改善に係る事業者アイデアを把握するため、交通事業者を対象にヒアリング調査を実施した。

| | |
|-------|--|
| 対象事業者 | (鉄道) 京王電鉄 (バス) 京王バス、小田急バス (タクシー) 京王自動車、美善交通、イースタンモーターズ調布、 介護タクシーすまいるハイケア、介護タクシーケアレスキュー、 武蔵野コアラ (NPO法人) ほか |
| 調査期間 | 令和6年2月 |
| 調査内容 | ①調布市内の公共交通の現状、課題 (運行本数、車両数、利用者数、運転手数、収支などの状況および推移、 どんな運送ができるか、利便性、安全確保、持続可能性についての現状や課題 など) ②課題に対する取組、将来の展望 (課題に対する取組状況・予定・アイデア、行政のサポートにより実現可能な運行(案)、展望、 今後の短期・中長期の業務・事業展開、将来展望 など) ③調布市の特徴 (調布市の印象、特色) |

▲公共交通事業者ヒアリングの概要

公共交通に対するニーズの把握：③公共交通事業者ヒアリング

○いただいた意見の例（バス、鉄道）



バス

現状

- コロナ禍前より乗務員不足は問題でしたが、コロナ収束に伴う移動需要の回復により乗務員不足が顕在化しました。
- 「出かけることなく完結」する新たな生活様式が浸透したため、バス利用者はコロナ前には戻らないと考えています。
- 路線バスという特性上、多くの要望がありますが、要望と需要のバランスをとって、判断しています。
- 公共交通の持続のためには、赤字路線など見直しをせざるをえません。
- 現状においても既存路線の維持もままならず、今後はさらに深刻化する見通しです。
- 法改正による労働条件の見直しや乗務員不足により運行本数の確保が難しくなる見通しです。

取組

- 新しい交通手段として、自動運転による路線バス運行、オンデマンド交通の実証実験に取り組んでいます。
- 環境への配慮のために、EVバス（電気バス）の導入を促進することを考えています。



電車

現状

- 2023年度第3四半期累計の輸送人員はコロナ禍前の水準には回復していません。
- 調布市近郊では、早朝や深夜時間帯の一部列車を除いては、コロナ禍以降も減便なく輸送力を確保しています。

取組

- ホームドア整備は現在9駅で完了しており、2030年代前半までに全駅整備を目指しています。
- 電車内の事件などへの対策として、車内やホーム上の防犯カメラを2023年度末までに全車両・全駅に設置します。

(2024年2月21日 現在)

公共交通に対するニーズの把握：③公共交通事業者ヒアリング

○いただいた意見の例（タクシー事業者）



一般タクシー

現状

- タクシー利用者は、日中はコロナ禍前に戻りつつありますが、22時以降は戻っていません。
- 乗務員の高齢化が進んでおり、乗務員確保は最優先で進めています。
- 多摩地区では様々な地区でデマンド交通を運行していますが、継続のためには地元住民の意向などが重要だと思います。
- コロナ禍前の売上などに回復しつつあります。
- 乗務員不足や乗務員の高齢化が問題となっています。

取組

- アプリでの配車などを導入しています。

その他

- ライドシェア新法により全面解禁される可能性があり、トラブル防止のため予め検討しておくべきだと思います。



その他タクシー

現状

- 民間救急事業では、救急患者様で且つ救急車程の緊急性の無い方の要請に応じています。
- 介護タクシー事業では、障害者高齢者など福祉限定としたタクシー移送事業を行っています。
- 有償運送サービスでは、当社訪問介護事業所の利用者様をタクシーとは別の認可料金で移送しています。
- 当日の依頼に対しては、空き車両がない場合は対応が難しいですが、改善、工夫をしているところです。
- 高齢者や障害者の送迎を行っています。
- 調布市の車いす福祉タクシーは、他市に比べて評判がよいです。
- コロナ禍前に比べて利用者が減少傾向にあります。特に、高齢者や身体の不自由な方の感染症への警戒心が強く、減少が顕著です。
- 介護タクシーでは、大多数が通院を目的とした利用であり予約がとれないと本当に困る状況になります。

取組

- サービスの継続には、法令を遵守している事業者間で適正な競争が出来ることが必要だと思います。

地域公共交通の問題点・課題点の整理

- 調布市の現況・公共交通・移動特性の問題や、ニーズ調査結果より、地域公共交通の課題として、以下の点が挙げられる。

調布市の概況 (人口の動態、土地利用の状況)

- 高齢者の移動を支える公共交通ネットワークを構築することが必要。
- 鉄道駅へのアクセシ性の確保が必要。

調布市の公共交通の現状

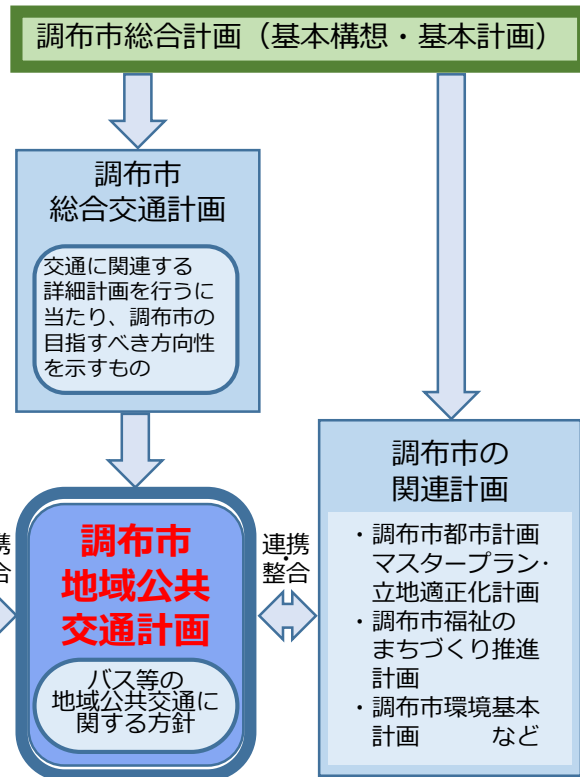
- 今後も京王線と南北方向の路線バスを中心とした公共交通ネットワークを維持していくことが必要。
- 公共交通が利用しにくい地域や、利用者減少・運転手不足により既存バス路線が減便される地域の移動手段について検討していくことが必要。

調布市の移動特性、ニーズ

- 鉄道駅と連動した公共交通ネットワークを構築していくことが必要。
- 周辺市の公共交通ネットワークとも連動した公共交通ネットワークを構築することが必要。
- 既存の交通機関を活用し様々な移動手段の連携により地域の移動性を高めていくことが必要。

地域公共交通に係る基本方針（案）

- 上位関連計画や社会要請からは、以下の観点からの対応が求められている。
- 上位関連計画から「まちづくりと連携」、「安全・安心・快適」、「持続可能」といった観点を考慮した交通体系の構築が求められる。
- 近年の変化が著しい時代の社会要請としては、「SDGsへの対応」、「ポストコロナへの対応」、「バリアフリー計画との整合」、「ゼロカーボンシティの実現」を目指した交通環境を整備することが必要。



▲調布市地域公共交通計画の位置づけ

<上位関連計画より求められる観点>

| 観点 | 関連する上位関連計画 |
|----------------|---|
| まちづくりと連携した公共交通 | 調布市総合計画、交通政策基本計画、調布市総合交通計画 改定版 |
| 安全・安心・快適な公共交通 | 調布市総合計画、調布市地域防災計画 調布市福祉のまちづくり推進計画 |
| 持続可能な公共交通 | 調布市都市計画マスタープラン・立地適正化計画、東京における地域公共交通の基本方針、調布市環境基本計画、鉄道敷地整備計画 |

<社会要請より求められる観点的例>



▲SDGsにおける17の目標



めざそう 脱炭素のまち 調布
～ひとりひとりの“かしい選択”がつくる わたしたちの暮らしと未来～

▲「2050年ゼロカーボンシティ調布」における目指す将来像

地域公共交通に係る基本方針（案）

- 調布市の公共交通に関する課題や上位関連計画、社会要請から求められる観点を踏まえ、地域公共交通に係る基本方針(案)を設定。

1

高齢者の移動を支える公共交通ネットワークの構築

2

鉄道駅と連動した公共交通ネットワークの構築、アクセス性の確保

3

公共交通不便地域、運転手不足による既存バス路線の減便に応じた移動手段の確保

4

周辺市の公共交通ネットワークとも連動した公共交通ネットワークの構築

基本方針

| | | 高齢者の移動を支える公共交通ネットワークの構築 | 鉄道駅と連動した公共交通ネットワークの構築、アクセス性の確保 | 公共交通不便地域、運転手不足による既存バス路線の減便に応じた移動手段の確保 | 周辺市の公共交通ネットワークとも連動した公共交通ネットワークの構築 |
|---------------------------|----------------------------------|-------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 調布市の概況 (人口の動態、土地利用の状況) | 人口はほぼ横ばいで推移、高齢化は進行 | ○ | | | |
| | 調布駅を中心とした中心市街地に公共施設や商業施設が多く集積・誘導 | | ○ | | |
| 調布市の公共交通の現状 | 京王駅の駅を発着するバスネットワークが構築 | | ○ | | |
| | 公共交通不便地域が存在 | | | ○ | |
| | 運転手不足等による既存バス路線の減便 | | | ○ | |
| | 鉄道の分担率が非常に高い | | ○ | | |
| 調布市の移動特性・ニーズ | 一部中央線、小田急線の各駅へアクセスする人も存在 | | | | ○ |
| | 駅から離れて住む人はバスや自転車等を利用して鉄道にアクセス | | ○ | | |

現状・問題

基本方針に沿った具体的な事業計画（案）

- 基本方針に基づき事業計画（案）を検討。今後、協議会等の議論を踏まえ更新予定。

1.公共交通ネットワークの整備・改善

1. 鉄道や路線バス、ミニバスなどによる、公共交通ネットワークの構築
2. 需要に対応した効率的なバスネットワークの構築・再編
3. 需要に応じたバスの適切な運行本数の設定
4. バスの定時性、速達性の向上
5. バスの乗継割引制度導入に向けた検討
6. 新たなモビリティ等の活用による移動手段の確保（デマンド型交通など）
7. 地域との協働による、公共交通の新規導入の検討（乗合タクシーなど）
8. 公共交通のサービスを連携する仕組み（MaaS等）やバスロケーションシステムの運用検討
9. バス利用におけるICT等活用に関する啓発活動の実施
10. バスの円滑な走行のための道路整備、交差点改良，交通規制

2.交通結節点の整備

11. まちづくりと一体となった交通結節機能の強化
12. 市民・来訪者など全ての利用者にわかりやすい情報提供
（バス路線の情報やバス停までの経路、駅ナンバリング、ピクトグラム、多言語表記の充実など）
13. ベンチや上屋などのバス待ち環境整備

3.公共交通のバリアフリー化

14. ユニバーサルデザインの考え方を踏まえたバリアフリー化の促進
15. 公共交通機関の利用環境の整備
16. 利用しやすい移動支援施策の充実
（駅係員、乗務員のバリアフリー教育、ノンステップバスやUDタクシーの普及・利用促進など）

4.環境への配慮

17. 環境負荷軽減に資する車両の公共交通への導入促進
（ゼロ・エミッションバス、グリーンスローモビリティなど）

5.モビリティマネジメント

18. モビリティマネジメントの実施
（自家用車から徒歩や自転車、公共交通機関の利用への転換の促進）

6.最新技術を活用した移動手段等の検討

19. グリーンスローモビリティなど次世代交通システムの活用方策検討
20. ライドシェアに関する交通事業者等との意見交換、他自治体の動向の調査

オープンハウスの実施

- 地域公共交通の考え方について多くの方へ情報提供を行うとともに、公共交通全般の課題を把握するため、オープンハウスを実施した。

| | |
|------|---|
| 開催場所 | 調布駅前広場（晴天時） 調布駅地下通路（雨天又は荒天時） |
| 開催期間 | 令和6年3月4日（月）、6日（水）、8日（金） 計3日間 時間帯 13:00～15:00 |
| 参加者数 | 95人 |

▼パネル構成



▲オープンハウス実施状況

| タイトル | 枚数 | 展示内容 |
|---------------------|----|---|
| 地域公共交通計画とは | 1 | 地域公共交通計画とは |
| 調布市の公共交通 | 1 | 調布市の公共交通 市内を運行する公共交通について |
| 調布市の公共交通を取り巻く状況について | 3 | 調布市の概況（人口の動態、土地利用の状況）、 調布市の公共交通、調布市の移動特性、二ーズ |
| 二ーズ等調査結果 | 3 | 市民アンケート調査結果、懇談会結果、 交通事業者ヒアリング結果 |
| 北部デマンド型交通実証実験 | 1 | 導入の経緯、デマンド型交通とは、 概要、利用イメージ、乗降ポイント |
| 地域公共交通の策定方針 | 2 | 地域公共交通計画策定の方針 地域公共交通計画での具体的な事業 |

令和6年度の取組予定

- 令和6年度は、今年度実施した内容を元に素案をまとめ、地域との意見交換やパブリックコメント等を行った上で、調布市地域公共交通計画を策定する。

| | |
|-------|--|
| 令和5年度 | <ul style="list-style-type: none"> 市内の現況等の整理 公共交通に対するニーズの把握 地域公共交通の問題点・課題点の整理 地域公共交通に係る基本方針と目標の検討 目標を達成するために行う具体的な事業計画の検討 オープンハウスの実施 |
| 令和6年度 | <ul style="list-style-type: none"> 地区別意見交換会の開催 関係者協議の実施 調布市地域公共交通計画（素案）の取りまとめ パブリックコメントの実施 調布市地域公共交通計画の策定 |

▲ 調布市地域公共交通計画策定スケジュール（再掲）